

令和6年度

若手教員研修

(初任者研修)

研修の手引き2

<初任者用>

福井県教育委員会

勤務校	職名
氏名	

目 次

<p>① 基本研修 ----- 1</p> <p> 1 基本研修のねらい</p> <p> 2 基本研修の概要</p> <p> 3 基本研修の特色</p>	
<p>② 若手教員研修 ----- 2</p> <p> 1 若手教員研修のねらい</p> <p> 2 若手教員研修の柱</p> <p> 3 若手教員研修に向けての心構え</p>	
<p>③ 令和6年度初任者研修の概要 ----- 3</p> <p> 1 目的</p> <p> 2 実施主体</p> <p> 3 対象者</p> <p> 4 内容等</p> <p> 【校種別校外研修実施計画】</p> <p> 小学校・・・7 中学校・・・8 県立中学校・・・9</p> <p> 高等学校・・・10 特別支援学校・・・11</p>	
<p>④ 校外研修の受講に当たって ----- 12</p> <p> 1 校外研修受講の際の心得</p> <p> 2 校外研修の実施時間</p> <p> 3 研修資料のダウンロードおよびレポート等の提出先</p> <p> 4 研修を受ける上での準備物</p> <p> 5 研修の参加に支障が生じたとき</p> <p> 6 受講日等に注意が必要な研修</p>	
<p>⑤ 校外研修に関わる受講日等希望調査、その他の提出書類について ----- 14</p> <p> 1 受講日等希望調査</p> <p> 2 諸届</p> <p> 3 校外研修の記録・報告書</p>	
<p>⑥ 校外研修に関わるレポート ----- 16</p>	
<p>⑦ 通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボについて ----- 17</p> <p> 1 通信型研修の受講方法</p> <p> 2 NITS動画教材の受講方法</p> <p> 3 NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～の受講方法および修了証明書</p> <p> 4 通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボの振り返り</p>	
<p>主な研修会場案内 ----- 19</p> <p>福井県教員育成指標 ----- 20</p>	

<校外研修についての問合せ先>

福井県教育総合研究所 教職研修センター	TEL (0776)58-2160 URL https://www.fukui-c.ed.jp/~fec/ E-mail wakatel@fec.fukui-c.ed.jp
福井県特別支援教育センター	TEL (0776)53-6574 URL http://www.fukuisec.ed.jp E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp
福井県教育庁嶺南教育事務所	TEL (0770)56-1302 URL http://info.pref.fukui.jp/gakukyo/reinan/index

1 基本研修（若手教員研修、中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修）

1 基本研修のねらい

(1) 「教えることの専門家」から「学びの専門家」へ

学校教育の成果は、その担い手である教員の資質・能力に負うところが大きい。グローバル化に伴い社会や産業、経済が大きく変化する中、先行き不透明な時代をたくましく生き抜く力を児童・生徒に育成することが、学校教育の重要な役割となっている。そのためには、従来の知識習得中心の教育から、知識を活用しながら新たな知を創造し、正解のない課題に立ち向かっていく資質・能力を育てる教育へ、学びの質の転換を図らなければならない。

こうした教育の質の転換は、その担い手である教員にも変化を迫っている。すなわち、「教えることの専門家」から、自分自身も学び続ける「学びの専門家」への転換である。現状に安住することなく教職生活全体を通じて学び続け、新たな教育課題に対応できるよう常に自己の成長や変革を図っていくことが、これからの教員に求められる重要な資質・能力となっている。

(2) 学び続ける教員の土台を築く

福井県教育委員会は「福井県教員育成指標」に基づく教員研修を行っている。初任者から教員のキャリアに応じて実施する基本研修は、若手教員の日々の教育活動に寄り添いながらその成長を支えるとともに、力量ある教員としてキャリア形成していくための土台を築く研修である。

生涯にわたって学び続ける「学びの専門家」という新たな教員に向けて、最初の10年間は極めて重要である。この土台を築く期間に、自己研鑽の姿勢や方法を身に付けることで、教員としての可能性が大きく広がる。

2 基本研修の概要

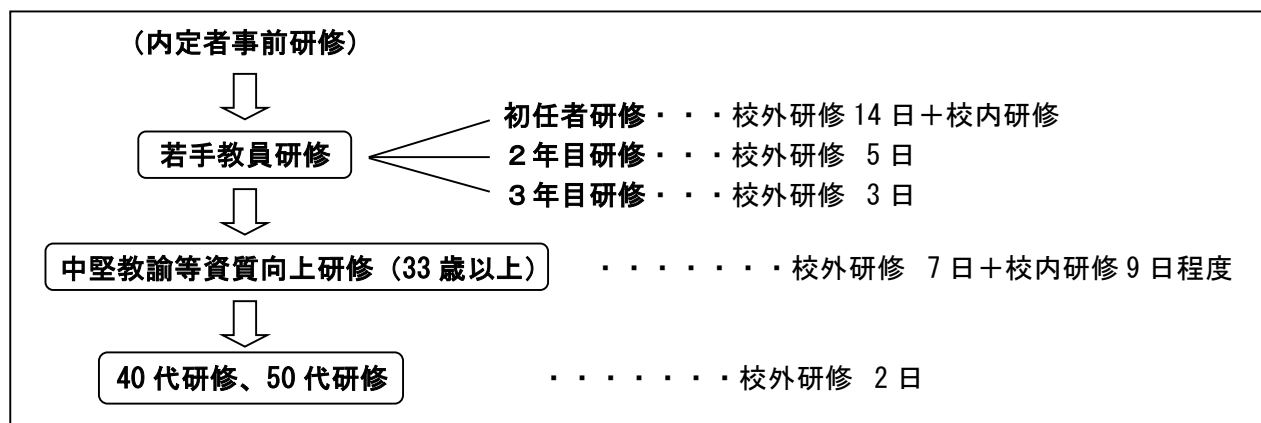
福井県教育委員会では福井県教員育成指標（p. 20 参照）に基づき、各ステージの資質・能力の育成をめざし、次の基本研修を実施する。

(1) 若手教員研修（初任者研修、2年目研修、3年目研修）

第1ステージの資質・能力の育成を目指し、初任者研修、2年目研修、3年目研修を実施する。教員としての基本的な力量形成を図ることで、教員としての自立を支援する。初任者研修においては、校内研修と校外研修の関連を図りながら進めていく。

(2) 中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修

第2ステージ、第3ステージの資質・能力の育成を目指し、中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修を実施する。教員として一定の経験を積んだ時期に自己の特性を伸ばすとともに、これまでの経験をもとに創造的な実践に取り組む意欲と力量の向上を図る。主に中堅教諭等資質向上研修においては、校内研修と校外研修の関連を図りながら進め、若手教員へのリーダーシップの向上を支援する。



3 基本研修の特色 ―クロスセッション―

若手教員研修、中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修からなる基本研修は、教員としての様々な経験を踏まえながら、各研修間の内容のつながりと実践の共有を重視し、系統性・一体性をもって実施している。そこで軸となるのが、クロスセッションである。

クロスセッションとは、校種や経験年数、世代が異なる教員とグループを組み、実践や思いを共有する協議形態で、幅広い学びの獲得を意図している。このクロスセッションを通して、協議内容からの学びだけでなく、自らの経験をもとにした語りと傾聴によりコミュニケーション能力を高めると共に、自律した教育者としての自覚を持ち、一層の成長を図る。クロスセッションを取り入れた主な研修は、次のとおりである。

○若手教員同士のクロスセッション

対象：初任者研修、2年目研修、3年目研修受講者

内容：年間を通して取り組んでいる授業実践研究の中間報告

○若手教員と中堅教員でのクロスセッション

対象：初任者研修、3年目研修、中堅教諭等資質向上研修の受講者

内容：年間を通して取り組んでいる授業実践研究（初任者、3年目）、教育実践研究（中堅）のまとめの報告

○世代の異なる教員でのクロスセッション

対象：中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修

内容：世代を交えた教員同士の学び合い、教育実践の共有

2 若手教員研修（初任者研修、2年目研修、3年目研修）

1 若手教員研修のねらい

若手教員研修は、教職に就いたばかりの教員を支援する研修であるとともに、職務を遂行する能力を向上させるなど、教員としての基盤形成を軸とした基本研修である。主なねらいは、次のとおりである。

①授業実践力を高める。

②教員としての使命や責任を自覚し、目標を明確にして力量形成に取り組む意欲を高める。

③学級経営や生徒指導、特別な配慮を要する児童・生徒への対応、ICTの利活用等、校種に合わせて求められる多様な能力の基礎を、実践を通して身に付ける。

④多様な協議の場を通してコミュニケーション能力を高める。

2 若手教員研修の柱 — 授業実践研究 —

授業を中心とした実践力向上のため、研修の柱として、3年間を通して授業実践研究を設定する。受講者は、年間を通してのテーマを設定し、「実践」—「省察」—「記録」—「実践研究の共有」という「授業実践のサイクル」を回しながら、実践を進めていく。自己の実践の成果や課題を明らかにしながら、それをもとに実践の改善を図り、省察的実践力を高める。実践研究を進める上では、学級経営や生徒指導などの教育実践の側面も含まれる。

そして、初任者研修の実践での成果や課題を踏まえ2年目研修の実践テーマを、同様に、2年目研修の実践での成果や課題を踏まえ3年目研修の実践テーマを設定することを促し、系統性のある研修とする。

また、次の2回のクロスセッションを通して、3年間の授業実践研究を一体性のある研修とする。

○10、11月〔初任者、2年目、3年目〕でのクロスセッション

校種や教科を合わせたグループで、専門的な力量形成を目指す。

○1、2月〔初任者、3年目、中堅教諭〕でのクロスセッション

校種や教科を超えたグループで、他者の視点を意識し視野を広げる。

3 若手教員研修に向けての心構え

研修に当たっては、若手教員研修の趣旨を理解し、「学び続ける教員」として自己の現状や課題を認識して目標を設定し、目指す目標に向かってどのような努力が必要かを把握することが大切である。そして、研修を通して同期採用や先輩の教員から謙虚に学び、着実に力量を向上させ、その力を児童・生徒へのよりよい教育の実践につなげる姿勢が重要である。

3 令和6年度初任者研修の概要

1 目的

教職1年目から3年目までの教員を対象とする若手教員研修の初年度の研修として実施する。初任者研修は、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、新任教員に対して現職教育の一環として1年間の研修を行うものである。研修を通して、福井県教員育成指標に基づいた資質・能力および実践的指導力の育成を目的とする。

2 実施主体

福井県教育委員会が関係教育委員会の協力を得て実施する。

3 対象者

初任者研修の対象者（以下「初任者」）は、令和6年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の新任教諭とする。ただし、養護教諭、栄養教諭および県外等における1年以上の教職経験者（臨時的任用は含まない）は除く。

4 内容等

(1) 研修内容

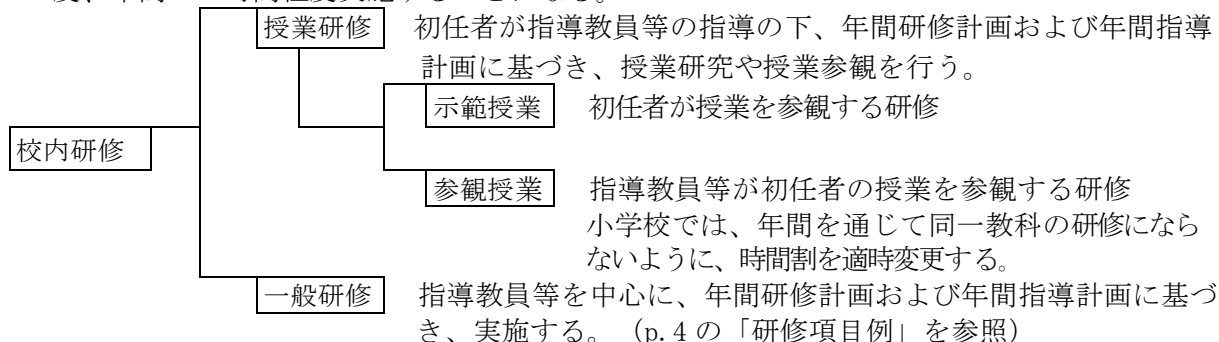
教員に必要な資質・能力の向上を目指して、素養、指導力（学習指導、生徒指導）、マネジメント・人材育成、連携・協働等について研修を行う。

(2) 研修形態

初任者研修は、校内研修と校外研修の二つからなる。

① 校内研修

勤務校において校長の指導の下に、指導教員等を中心とした指導・助言によって行う研修で、職務遂行に必要な事項についての研修を初任者としては週6時間程度、年間180時間程度実施する。なお、指導教員・校内研修コーディネーターとしては準備等の時間を含め、週10時間程度、年間300時間程度実施することになる。



○ 初任者アドバイザー

初任者アドバイザーは、初任者が所属する学校の教諭（原則として若手教員研修の修了者）から任命され、初任者の身近な相談相手として支援をする。

○ 教科指導員

高等学校および特別支援学校（中学部・高等部。ただし、知的障がいの教育課程を除く。）においては、指導教員の免許教科が初任者の免許教科と異なる場合は、教科指導員において指導・助言を行う。

② 校外研修

教育総合研究所、特別支援教育センター、教育庁嶺南教育事務所、関係市町教育委員会、南越地方教育委員会連絡協議会などが実施する研修で、年間14日実施する。教育課題に関する事項、教育者としての基本的姿勢に関する事項、教員としての専門的指導力に関する事項などについて、講義、演習および実技研修を行う。

年間を通じ、実施計画に基づいて、校種毎にそれぞれ実施する。

(3) 研修項目例

①校内研修

資質・能力	第1学期	第2学期	第3学期
素養	教員としての心構えとマナー メンタルヘルス 教員の服務と本校の勤務規定	教育関係法規の概要 教職観の涵養 人権教育	研修と自己成長 初任者研修の総括
指導力	学 習 指 導 学習指導案の書き方 教科指導の基礎技術 授業の参観と実施 教材研究の進め方 授業の進め方 テストの作成と評価の仕方 道徳教育の目標と意義 特別活動の教育的意義 総合的な学習（探究）の時間の趣旨 外国語活動・外国語科の趣旨	授業の進め方 授業の参観と実施 個別指導・グループ指導・一斉指導 教材・教具の作成と活用の仕方 テストの作成と評価の仕方 学校行事の指導の実際 児童・生徒会活動の指導の実際 情報教育の進め方 環境教育の進め方 国際理解教育の進め方	授業の参観と実施 授業研究の進め方 テストの作成と評価の仕方 1年間の授業の反省と評価 特別活動の反省と評価 次年度年間指導計画の検討
	共 通	デジタル教材の活用 I C T機器の利用 特別支援教育の推進	
	生 徒 指 導	学習態度の育成の指導 児童・生徒の実態把握や理解 集団指導の技術 集団指導と個別指導 児童・生徒のほめ方、しかり方 学級経営案の作成 年度当初の学級事務の進め方 教室の環境づくり 朝の会・帰りの会の進め方 学級活動の進め方 通知表の作成法 いじめ・自殺防止	個別指導の進め方 問題行動に関する事例研究 教育相談の進め方 学校における生徒指導体制 生徒指導の意義と実際 学級通信の作り方 学級活動の指導の実際 進路指導（キャリア教育）の意義と実際 体験活動の指導の実際 部活動の指導の実際 いじめ・自殺防止
人材育成	学校教育目標 本校の特色と教育課程 学級運営の在り方 保健管理・保健教育 学級経営の評価 今後の学校の在り方 学校の組織と運営 P T Aの組織と運営	2学期の学級経営 学級経営の評価 校内組織（校務分掌）の在り方 開かれた学校づくり 業務効率化のための環境整備や工夫	3学期の学級経営 教育課程実施の点検と改善 学校目標と学校評価 年間の学級経営の評価と次年度の計画 学校の危機管理
連携・協働	家庭、地域、関係機関との連携 食に関する指導 保護者会の進め方	家庭訪問の進め方 保護者との面談の進め方	児童・生徒の安全・安心 教育にかかわる現状と課題

※3学期制の場合

②校外研修

資質・能力		小 学 校	中 学 校
素 養		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の基本（本県教育の課題、使命感、服務、人権教育等） ・コミュニケーション力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の基本（本県の教育課題、使命感、服務、人権教育等） ・コミュニケーション力
指 導 力	学 習 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別学習指導、外国語活動（教育課程、授業研究を含む） ・授業実践研究 ・福井の教育力を支える研究・連携 ・学びの接続の視点での研究 ・道徳教育（授業研究を含む） ・体育に関する安全管理と指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別学習指導（教育課程、授業研究を含む） ・授業実践研究 ・福井の教育力を支える研究・連携 ・学びの接続の視点での研究 ・道徳教育（授業研究を含む）
	共 通	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育（ICT機器の活用） ・特別支援教育の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育（ICT機器の活用） ・特別支援教育の基礎
	生 徒 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導 ・児童理解（いじめ・自殺防止等） ・教育相談 ・特別活動 ・キャリア教育 ・発達障がいへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導 ・生徒理解（いじめ・自殺防止等） ・教育相談 ・特別活動 ・キャリア教育、進路指導 ・発達障がいへの対応
人 材 育 成	マ ネ ジ メ ン ト ・	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールコンプライアンス ・学級経営 ・学校危機管理（防犯、防災） ・健康安全教育 ・目指す教員像（OJT） ・教職員のメンタルヘルス ・異校種間連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールコンプライアンス ・学級経営 ・学校危機管理（防犯、防災） ・健康安全教育 ・目指す教員像（OJT） ・教職員のメンタルヘルス ・異校種間連携
連 携 ・ 協 働		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への対応 ・環境・エネルギー教育、国際理解教育 ・今日的課題（社会の変化と学校教育） ・地域理解（地域の関係機関との連携等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への対応 ・環境・エネルギー教育、国際理解教育 ・今日的課題（社会の変化と学校教育） ・地域理解（地域の関係機関との連携等）

資質・能力		高 等 学 校	特別支援学校
素 養		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の基本（本県教育の課題、使命感、服務、人権教育等） ・コミュニケーション力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の基本（本県教育の課題、使命感、服務、人権教育等） ・コミュニケーション力
指 導 力	学 習 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別学習指導（教育課程、授業研究を含む） ・授業実践研究 ・福井の教育力を支える研究・連携 ・学びの接続の視点での研究 ・教科指導と特別活動の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別学習指導（教育課程、授業研究を含む） ・授業実践研究 ・福井の教育力を支える研究・連携 ・学びの接続の視点での研究 ・教科指導と特別活動の実際
	共 通	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育（ICT機器の活用） ・特別支援教育の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育（ICT機器の活用） ・特別支援教育入門
	生 徒 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導 ・生徒理解（いじめ・自殺防止等） ・教育相談 ・特別活動 ・キャリア教育、進路指導 ・発達障がいへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導 ・生徒理解（いじめ・自殺防止等） ・障がいの理解 ・教育相談 ・特別活動 ・キャリア教育、進路指導
マ ネ ジ メ ン ト ・ 人 材 育 成		<ul style="list-style-type: none"> ・スクールコンプライアンス ・学級経営 ・学校危機管理（防犯、防災） ・健康安全教育 ・目指す教員像（OJT） ・教職員のメンタルヘルス ・特別支援教育の現状と課題 ・異校種間連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールコンプライアンス ・学級経営 ・学校危機管理（防犯、防災） ・健康安全教育 ・目指す教員像（OJT） ・教職員のメンタルヘルス ・特別支援教育の現状と課題 ・異校種間連携
連 携 ・ 協 働		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への対応 ・環境・エネルギー教育、国際理解教育 ・今日的課題（社会の変化と学校教育） ・地域理解（地域の関係機関との連携等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への対応 ・環境・エネルギー教育 ・今日的課題（社会の変化と学校教育） ・地域理解（地域の関係機関との連携等）

(4) 校外研修実施計画

【小学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 - -	素養 素養 マネジメント 生徒指導 マネジメント - -	教職員の服務・規律 人権教育(同和教育・いじめ防止等) 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイドンス	4月2日(火) 10:00~16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎NITS基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアンス」	各自	-
N002	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	-
G211	マネジメント	◎通信型研修「学級づくりシリーズI」		☆TS1で代替可
112b	学習指導	ICTタブレット活用	下記5日のうち指定日に受講 4月16日(火) 勝山市ジオアリーナ 18日(木) 嶺南教育事務所 19日(金) 教育総合研究所 23日(火) 武生商工会議所 25日(木) 教育総合研究所 10:00~12:30 または 14:00~16:30	p.12参照
G301	マネジメント	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	-
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修I(国語、社会、算数、理科、外国語) 授業づくり①	嶺北 5月23日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所 嶺南 5月30日(木) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	p.13参照 ※事前課題あり
144 104 142 192	マネジメント 素養 マネジメント 学習指導 福井の力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 個人面談 NIE、環境教育	下記2日のうち指定日に受講 6月6日(木)、13日(木) 9:30~16:00 三方青年の家	p.13参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 マネジメント 学習指導 福井の力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解(自殺防止等) 学級づくり② ふくい教育 授業づくり② 授業実践研究I(テーマ設定)	嶺北 6月27日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所 嶺南 6月20日(木) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	※事前課題あり
N003	生徒指導	◎NITS基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	-
115 131	学習指導 生徒指導	道徳の授業づくり 特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応)	7月4日(木) 13:30~16:30 オンライン	-
112c	学習指導	授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)	各自申込	p.13参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自	☆TS2で代替可
117	学習指導	体育に関する安全管理と指導	福井・坂井・奥越 10月3日(木) 13:30~16:30 福井市中藤小学校 鯖丹・南越・嶺南 9月19日(木) 13:30~16:30 南越前町立南条小学校	別途通知
N004	学習指導	◎NITS 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	各自	☆TS3で代替可
161	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月17日(木) 嶺南教育事務所 22日(火) あいばーく今立(越前市) 31日(木) 教育総合研究所 11月1日(金) 教育総合研究所 6日(水) 教育総合研究所 7日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
N005	学習指導	◎NITS基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして～学びを深める校内研修～」	各自	☆TS4で代替可
145 118 126	マネジメント 学習指導 生徒指導 連携・協働	健康安全教育(防災、食育を含む) 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月21日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	-
H001~ H621	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から1講座選択	各自	☆TS5で代替可
162	学習指導 連携・協働	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月23日(木) 教育総合研究所 24日(金) 嶺南教育事務所 28日(火) 教育総合研究所 30日(木) あいばーく今立(越前市) 2月5日(水) 教育総合研究所 6日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自	-
171 172	学習指導 学習指導	地域別授業実践研究① 地域別授業実践研究②	市町教育委員会等が計画・実施	市町教育委員会 等より別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.16「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

※☆TSは新任特別支援学級担任教員研修を指す。(詳細はp.13参照)

校外研修実施計画

【中学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 - -	素養 素養 マネジメント 生徒指導 マネジメント - -	教職員の服務・規律 人権教育(同和教育・いじめ防止等) 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイドンス	4月2日(火) 10:00~16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎NITS基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアンス」	各自	-
N002	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	-
G211	マネジメント	◎通信型研修「学級づくりシリーズI」		☆TS1で代替可
112b	学習指導	ICTタブレット活用	下記5日のうち指定日に受講 4月16日(火) 勝山市ジオアリーナ 18日(木) 嶺南教育事務所 19日(金) 教育総合研究所 23日(火) 武生商工会議所 25日(木) 教育総合研究所 10:00~12:30 または 14:00~16:30	p.12参照
G301	マネジメント	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	-
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修I 授業づくり①	嶺北 5月23日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所 嶺南 5月30日(木) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	p.13参照 ※事前課題あり
144 104 142 192	マネジメント 素養 マネジメント 学習指導 福井の力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 個人面談 NIE、環境教育	6月5日(水) 9:30~16:00 三方青年の家	p.13参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 マネジメント 学習指導 福井の力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解(自殺防止等) 学級づくり② ふくい教育 福井の力 授業づくり② 授業実践研究I(テーマ設定)	嶺北 6月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所 嶺南 6月20日(木) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	※事前課題あり
N003	生徒指導	◎NITS基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	-
115 131	学習指導 生徒指導	道徳の授業づくり 特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応)	7月4日(木) 13:30~16:30 オンライン	-
112c	学習指導	授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)	各自申込	p.13参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自	☆TS2で代替可
152 116	マネジメント 学習指導	高校教育の現状と課題 教科指導の実際(公開授業参観等)	9月26日(木) 午前 足羽高等学校	別途通知
N004	学習指導	◎NITS 校内研修シリーズNo.109「キャリアサポート」	各自	☆TS3で代替可
161	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月17日(木) 嶺南教育事務所 22日(火) あいばーく今立(越前市) 31日(木) 教育総合研究所 11月1日(金) 教育総合研究所 6日(水) 教育総合研究所 7日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
N005	学習指導	◎NITS基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして～学びを深める校内研修～」	各自	☆TS4で代替可
145 118 126	マネジメント 学習指導 生徒指導 連携・協働	健康安全教育(防災、食育を含む) 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月28日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	-
H001~ H621	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から1講座選択	各自	☆TS5で代替可
162	学習指導 連携・協働	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月23日(木) 教育総合研究所 24日(金) 嶺南教育事務所 28日(火) 教育総合研究所 30日(木) あいばーく今立(越前市) 2月5日(水) 教育総合研究所 6日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自	-
171 172	学習指導 学習指導	地域別授業実践研究① 地域別授業実践研究②	市町教育委員会等が計画・実施	市町教育委員会 等より別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.16「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

※☆TSは新任特別支援学級担任教員研修を指す。(詳細はp.13参照)

校外研修実施計画

【県立中学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 - -	素養 素養 マネジメント 生徒指導 マネジメント - -	教職員の服務・規律 人権教育(同和教育・いじめ防止等) 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイドンス	4月2日(火) 10:00~16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎NITS基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアス」	各自	-
N002	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	-
G211	マネジメント	◎通信型研修「学級づくりシリーズI」		☆TS1で代替可
112b	学習指導	ICTタブレット活用	4月25日(木) 教育総合研究所 10:00~12:30	p.12参照
G301	マネジメント	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	-
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修I 授業づくり①	5月23日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	p.13参照 ※事前課題あり
144 104 142 192	マネジメント 素養 マネジメント 学習指導 福井の力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 個人面談 NIE、環境教育	6月5日(水) 9:30~16:00 三方青年の家	p.13参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 マネジメント 学習指導 福井の力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解(自殺防止等) 学級づくり② ふくいの教育 授業づくり② 授業実践研究I(テーマ設定)	6月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	※事前課題あり
N003	生徒指導	◎NITS基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	-
115 131	学習指導 生徒指導	道徳の授業づくり 特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応)	7月4日(木) 13:30~16:30 オンライン	-
112c	学習指導	授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)	各自申込	p.13参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自	☆TS2で代替可
152 116	マネジメント 学習指導	高校教育の現状と課題 教科指導の実際(公開授業参観等)	9月26日(木) 午前 足羽高等学校	別途通知
N004	学習指導	◎NITS 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	各自	☆TS3で代替可
161	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月17日(木) 嶺南教育事務所 22日(火) あいばーく今立(越前市) 31日(木) 教育総合研究所 11月1日(金) 教育総合研究所 6日(水) 教育総合研究所 7日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
N005	学習指導	◎NITS基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして～学びを深める校内研修～」	各自	☆TS4で代替可
145 118 126	マネジメント 学習指導 生徒指導 連携・協働	健康安全教育(防災、食育を含む) 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月28日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	-
H001~ H621	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から1講座選択	各自	☆TS5で代替可
162	学習指導 連携・協働	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月23日(木) 教育総合研究所 24日(金) 嶺南教育事務所 28日(火) 教育総合研究所 30日(木) あいばーく今立(越前市) 2月5日(水) 教育総合研究所 6日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自	-
171 172	学習指導 学習指導	地域別授業実践研究① 地域別授業実践研究②	市町教育委員会等が計画・実施	市町教育委員会 等より別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.16「校外研修に関するレポート」で内容、提出方法等を確認する。

※☆TSは新任特別支援学級担任教員研修を指す。(詳細はp.13参照)

校外研修実施計画

【高等学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 - -	素養 素養 マネジメント 生徒指導 マネジメント - -	教職員の服務・規律 人権教育(同和教育・いじめ防止等) 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイド	4月2日(火) 10:00~16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として ~挨拶、言葉遣い、報・連・相~」 ◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアンス」	各自	-
N002	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	-
G211	マネジメント	◎通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	各自	-
112b	学習指導	I C T タブレット活用	下記5日のうち指定日に受講 4月16日(火) 勝山市ジオアリーナ 18日(木) 嶺南教育事務所 19日(金) 教育総合研究所 23日(火) 武生商工会議所 25日(木) 教育総合研究所 10:00~12:30 または 14:00~16:30	p.12参照
G301	マネジメント	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	-
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修Ⅰ 授業づくり①	5月23日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	p.13参照 ※事前課題あり
144 104 142 192	マネジメント 素養 マネジメント 学習指導 福井の力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 個人面談 N I E、環境教育	6月5日(水) 9:30~16:00 三方青年の家	p.13参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 マネジメント 学習指導 福井の力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解(自殺防止等) 学級づくり② ふくいの教育 授業づくり② 授業実践研究Ⅰ(テーマ設定)	6月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	※事前課題あり
N003	生徒指導	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	-
132 133	生徒指導 マネジメント	特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応) 特別支援教育の現状と課題	6月27日(木)または7月4日(木) 午前 福井大学教育学部附属特別支援学校	特支センターより別途通知
112c	学習指導	授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)	各自申込	p.13参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自	-
152 116	マネジメント 学習指導	高校教育の現状と課題 教科指導の実際(公開授業参観等)	9月26日(木) 午前 足羽高等学校	別途通知
N004	学習指導	◎N I T S 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	各自	-
161	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月17日(木) 嶺南教育事務所 22日(火) あいばーく今立(越前市) 31日(木) 教育総合研究所 11月1日(金) 教育総合研究所 6日(水) 教育総合研究所 7日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
N005	学習指導	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして ~学びを深める校内研修~」	各自	-
145 118 126	マネジメント 学習指導 生徒指導 連携・協働	健康安全教育(防災、食育を含む) 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月28日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	-
H001~ H621	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から1講座選択	各自	-
162	学習指導 連携・協働	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月23日(木) 教育総合研究所 24日(金) 嶺南教育事務所 28日(火) 教育総合研究所 30日(木) あいばーく今立(越前市) 2月5日(水) 教育総合研究所 6日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
N006	学習指導	◎N I T S 校内研修No.81 高等学校における道徳教育の充実に向けて	各自	-
173 174	学習指導 学習指導	授業実践と研究協議①(指導主事訪問) 授業実践と研究協議②(指導主事訪問)	高校教育課が計画・実施 (実施期間) *予定 No.173 5月下旬 ~ 9月 No.174 10月下旬 ~ 1月	高校教育課より別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.16「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

校外研修実施計画

【特別支援学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 - -	素養 素養 マネジメント 生徒指導 マネジメント - -	教職員の服務・規律 人権教育(同和教育・いじめ防止等) 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス	4月2日(火) 10:00~16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎NITS基礎的研修シリーズ No.4「スクール・コンプライアンス」	各自	-
N002	素養	◎NITS基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	-
N101	学習指導	◎NISE学びラボ「多様な学びの場(特別支援学校の教育)」		p.17参照
112b	学習指導	ICTタブレット活用	下記5日のうち指定日に受講 4月16日(火) 勝山市ジオアリーナ 18日(木) 嶺南教育事務所 19日(金) 教育総合研究所 23日(火) 武生商工会議所 25日(木) 教育総合研究所 10:00~12:30 または 14:00~16:30	p.12参照
G301	マネジメント	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	-
181 182 183	学習指導 生徒指導 生徒指導	授業実践研究Ⅰ(個別研究のテーマ) 特別支援教育概論 障がいの理解	5月23日(木) 9:30~16:00 特別支援教育センター	特支センターより 別途通知 ※事前課題あり
144 104 142 192	マネジメント 素養 マネジメント 学習指導 福井の力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 個人面談 NIE、環境教育	6月6日(木) 9:30~16:00 三方青年の家	p.13参照
121 191 125 114 184	生徒指導 学習指導 福井の力 生徒指導 マネジメント 学習指導 学習指導	児童・生徒理解(自殺防止等) ふくいの教育 学級づくり② 授業づくり 授業実践研究Ⅰ(個別研究の経過報告)	6月20日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	※事前課題あり
N003	生徒指導	◎NITS基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	-
132 133	生徒指導 マネジメント	特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応) 特別支援教育の現状と課題	6月27日(木)または7月4日(木) 午前 福井大学教育学部附属特別支援学校	特支センターより 別途通知
112c	学習指導	授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)	各自申込	-
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自	-
185 186 187	学習指導 連携・協働 学習指導	特別支援教育に関する課題研究 授業実践研究Ⅰ(個別研究の中間報告) 教科指導の基礎	9月26日(木) 9:30~16:00 特別支援教育センター	特支センターより 別途通知 ※事前課題あり
161	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	下記3日のうち1日選択 10月31日(木) 特別支援教育センター 11月7日(木) 特別支援教育センター 11月14日(木) 特別支援教育センター 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
N201	生徒指導	◎NISE学びラボ「障害種別の専門性」	各自	p.17参照
145 118 126	マネジメント 学習指導 生徒指導 連携・協働	健康安全教育(防災、食育を含む) 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月28日(木) 13:30~16:30 教育総合研究所	-
H001~ H621	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から1講座選択	各自	-
189	マネジメント 連携・協働	テーマ別協議	12月5日(木) 13:30~16:30 オンライン	特支センターより 別途通知
162	学習指導 連携・協働	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月23日(木) 教育総合研究所 24日(金) 嶺南教育事務所 28日(火) 教育総合研究所 30日(木) あいばーく今立(越前市) 2月5日(水) 教育総合研究所 6日(木) 教育総合研究所 13:30~16:30	別途通知 p.13参照 ※事前課題あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自	-
173	学習指導	授業実践と研究協議(指導主事訪問)	高校教育課が計画・実施 (実施期間)*予定 No.173 9月下旬~1月	高校教育課より 別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.16「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

4 校外研修の受講に当たって

1 校外研修受講の際の心得

- ・社会人として常識をもって行動する。
- ・教員として自覚をもって行動する。
- ・研修には、各自が課題をもって主体的、積極的に参加する。
- ・研修を受ける者としてふさわしい服装で参加する。
- ・研修の開始時刻を厳守する。やむを得ず遅れる場合は、管理職を通じて担当機関に電話連絡する。

2 校外研修の実施時間

- ・校種別の校外研修実施計画に定められた日に研修を受講する。
- ・研修開始時間の10分前までには、受付を完了する。
- ・教育総合研究所、特別支援教育センター、嶺南教育事務所での研修時間は下表のとおり。

	受付時間	研修時間	昼食・休憩	研修時間
1日の研修	9:00～9:20	9:30～12:00	12:00～13:00	13:00～16:00
午後の研修	13:00～13:20	13:30～16:30		

※例外あり

3 研修資料のダウンロードおよびレポート等の提出先

教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→「【初任者研修】No. ○○」→「格納資料一覧」

※詳しくは「P l a n t」TOP画面に掲載予定の「マニュアル」を参照

※レポートは必ず管理職の確認を受けてから提出すること。

4 研修を受ける上での準備物

- ・「若手教員研修 初任者研修の手引き2（初任者用）」、名札（集合型での研修中は必ず身に付ける。学校名と氏名を記入。）筆記用具、別途実施要項等で指示された課題等
- ・「研修資料（テキスト、名簿等）」（研修日の2日前から「P l a n t」より各自でダウンロードが可能となる。当日はデータまたは印刷物を持参する。）

5 研修の参加に支障が生じたとき

学校行事等で指定された研修日に受講できない場合や、災害・事故等の緊急事態により、研修の参加に支障が生じた場合は、管理職を通じて研修担当機関に連絡する。

6 受講日等に注意が必要な研修

(1) No.112b ICTタブレット活用研修

校種・地域で日時、会場を分けて実施する。

【午前の部】受付 9:30～9:50 研修 10:00～12:30

【午後の部】受付 13:30～13:50 研修 14:00～16:30

対象		期日		会場
小・中学校	県立学校			
大野市、勝山市	大野市、勝山市	4月16日(火)	午後	勝山市ジオアリーナ
敦賀市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町	—	4月18日(木)	午前	嶺南教育事務所
小浜市	敦賀市、小浜市、美浜町、若狭町		午後	
坂井市、あわら市	坂井市、あわら市	4月19日(金)	午後	教育総合研究所
鯖江市、池田町	鯖江市、越前市、越前町	4月23日(火)	午前	武生商工会議所
越前市、越前町、南越前町	—		午後	
福井市(中学校)、永平寺町(中学校)	福井市	4月25日(木)	午前	教育総合研究所
福井市(小学校)、永平寺町(小学校)	—		午後	

(2) No.112a 教科別研修 I (特別支援学校を除く)

次の中から受講教科(主に担当しているもの)を選択し、指定期間に Google フォーム (p.14 51) から回答する。

なお、嶺南の中学校で、国・社・数・理・英以外の教科を選択する場合は、5月23日(木)に研究所で実施する研修に参加する。

小…国語、社会、算数、理科、外国語

※書写、音楽、図画工作、家庭、総合的な学習の時間は2年目研修で受講(選択)

中…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保体、技・家(技)、技・家(家)、英語

高…国語、地歴・公、数学、理科、保体、芸(音、美、書)、英語、家庭、情報、専門(農、工、商、水、福)

(3) No.144、104、142、192 (会場：三方青年の家)

対象	期日
中学校教諭 高等学校教諭	6月5日(水) 9:30~16:00
小学校教諭(坂井市、あわら市、鯖江市、越前町、 小浜市、高浜町、おおい町、若狭町) 特別支援学校教諭	6月6日(木) 9:30~16:00
小学校教諭(福井市、永平寺町、勝山市、大野市、越前市、 南越前町、池田町、敦賀市、美浜町) 養護教諭 栄養教諭	6月13日(木) 9:30~16:00

(4) No.161 授業実践研究の共有、No.162 教育実践研究の共有(クロスセッション)

受講希望日の第1希望、第2希望を、指定期間に Google フォーム (p.14の51) から回答する。調整後の受講日は、研究所から別途文書で通知する。

(5) No.112c 授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)

研究協議会が開かれる公開授業に各自で申し込む。申込み後、教育総合研究所ホームページ→「Plant」→「研修申込状況」→「【初任者研修】No.112c」→「課題・アンケート一覧」から回答する。

※詳しくは「Plant」TOP画面に掲載予定の「マニュアル」を参照

※公開授業参観のみ、もしくは研究協議会参加のみの場合は受講とみなさない。なお、自校で実施する公開授業であっても、授業参観および研究協議会に他校の教員が参加する場合は、この授業研究の対象となる。

<例> 授業名人の公開授業、福井大学教育学部附属義務教育学校の公開授業、中高連携事業、各学校・教科等の研究発表会 等

(6) 新任特別支援学級担任教員研修(以下、新特担研修)での代替

特別支援学級担任になった初任者は、通信型研修の一部を新特担研修(特別支援教育センター主催)で代替することができる。対象となる研修およびコード No.は、校種別の校外研修実施計画の備考欄を参照すること。(備考欄のTS1~TS5は第1研修~第5研修を指す)

研修後、「研修の記録・報告書」に振り返りを記入する。初任者研修の代替として扱わない場合(欠席等による未受講を含む)、通信型研修、NITS動画教材を受講する。

新特担研修については、「新任特別支援学級担任教員研修実施要項」を参照すること。(特別支援教育センターから別途各学校に配付)

(7) その他

教育総合研究所ホームページにある「研修・会議参加に際しての留意事項」を下記URLもしくは右のQRコードより確認して研修に臨むこと。

[URL] <https://x.gd/JJt1l>



5 校外研修に関わる受講日等希望調査、その他の提出書類について

1 受講日等希望調査

No. 112a の受講教科、No. 161、No. 162 の受講希望日程（第 1 希望、第 2 希望）、その他担当学年等について、次の URL または QR コードから回答する。

〔URL〕 <https://forms.gle/RPHaF4MM5jxSxEzH6>



※事前に行事予定等を確認すること。

※下の表に必要な事項を記入し、必ず管理職や指導教員と相談してから回答すること。

※回答期間：令和 6 年 4 月 12 日（金）～ 4 月 26 日（金）

質問項目	回答内容
・学級担任の有無	<input type="checkbox"/> 正担任 <input type="checkbox"/> 副担任 <input type="checkbox"/> 特別支援学級担任 <input type="checkbox"/> 特別支援学級副担任 <input type="checkbox"/> 無担
・担当する学年（小のみ） ※複数ある場合は、主な学年を選択	<input type="checkbox"/> 1 年生 <input type="checkbox"/> 2 年生 <input type="checkbox"/> 3 年生 <input type="checkbox"/> 4 年生 <input type="checkbox"/> 5 年生 <input type="checkbox"/> 6 年生
・担当教科（中、高のみ）	[]
・学部（特別支援学校のみ）	<input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中等部 <input type="checkbox"/> 高等部
・講師経験の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・No. 112a 教科別研修 I の受講教科（小・中・高のみ）	[]
・No. 161 授業実践研究の共有 〔クロスセッション〕の受講希望日 （第 1 希望日、第 2 希望日） ※特別支援学校は、会場に特支センターの記載がある日から選択	10 月 17 日（木）〔嶺南教育事務所〕
	10 月 22 日（火）〔あいぱーく今立（越前市）〕
	10 月 31 日（木）〔教育総合研究所/特支センター〕
	11 月 1 日（金）〔教育総合研究所〕
	11 月 6 日（水）〔教育総合研究所〕
	11 月 7 日（木）〔教育総合研究所/特支センター〕
・No. 162 教育実践研究の共有 〔クロスセッション〕の受講希望日 （第 1 希望日、第 2 希望日）	11 月 14 日（木）〔特支センター〕
	1 月 23 日（木）〔教育総合研究所〕
	1 月 24 日（金）〔嶺南教育事務所〕
	1 月 28 日（火）〔教育総合研究所〕
	1 月 30 日（木）〔あいぱーく今立（越前市）〕
	2 月 5 日（水）〔教育総合研究所〕
	2 月 6 日（木）〔教育総合研究所〕

2 諸届

次のものは、事前に管理職を通じて担当機関に問い合わせた上で、必要に応じて校長が作成し、p. 15 の提出経路のとおりデータをメールにて提出する。

欠席届（共通様式 1）・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合
延期願（共通様式 2）・・・受講が次年度以降になる場合

- ・様式：教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」からダウンロード
- ・ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】欠席届または延期願
- ・ファイル形式：PDF

※特別支援教育センターに提出する場合は、宛名に「特別支援教育センター所長」も併記する。

3 校外研修の記録・報告書

様式は教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」からダウンロードし、下記の手順で作成する。（作成したものは必ず管理職、指導教員と共有すること。）

(1) 研修計画の確認

- ・年間の校外研修の実施日・会場等を把握するため、「校外研修の記録・報告書」の日時、会場欄を入力する。（計画の段階では外部機関への提出の必要はない）
- ※作成期間：令和6年4月2日（火）～4月12日（金）

(2) 「校外研修の記録・報告書」の作成

- ・毎回の研修終了後に「概要・感想・成果の活用等」を入力する。
- ・通信型研修、NITS動画教材、NISE学びラボ（校外研修実施計画 p.7～11）に記載の◎印が付されたものは、受講後に「概要・感想・成果の活用等」を入力する。
- ※新特担研修で代替する場合は、新特担研修の内容を入力する。
- ※受講の方法や期限は p.17 7 「通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボについて」を参照。

(3) 提出について

○中間報告

- ・第1回中間報告（5月末までの記録・報告）印刷したものを6月に三方青年の家で開催する研修時に持参する。
- ・第2回中間報告（8月末までの記録・報告）印刷したものを11月に開催する初任者研修時に持参する。

○最終提出

1年間の研修終了後、データを下記の提出経路に従い管理職を通じてメールにて提出する。

※延期願を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。

※年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書を提出する。

〔形式〕

ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】初任研_校外研修の記録・報告書
 （例：【福井小_福井太郎】初任研_校外研修の記録・報告書）

ファイル形式：PDF

〔締切〕

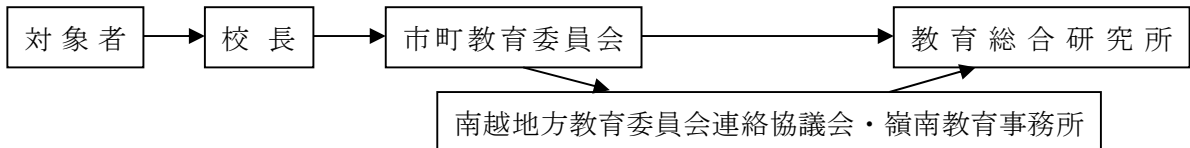
市町小・中学校「市町教育委員会へ」・・・・・・・・・・令和7年2月28日（金）

特別支援学校「特別支援教育センターへ」・・・・・・・・・・令和7年2月28日（金）

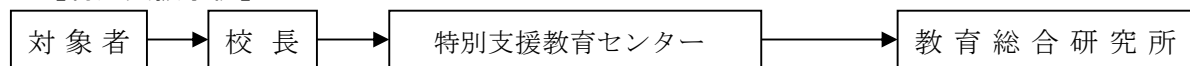
高等学校、県立中学校、その他「教育総合研究所へ」・・・・令和7年3月7日（金）

○提出経路

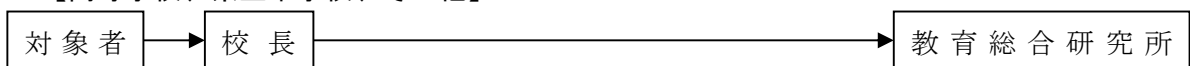
【市町小・中学校】



【特別支援学校】



【高等学校、県立中学校、その他】



教育総合研究所 教職研修センター	E-mail wakatel@fec.fukui-c.ed.jp
特別支援教育センター	E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp

6 校外研修に関わるレポート

校外研修実施計画 (p.7~11) と次の一覧表を確認し、作成・提出する。

〔小学校、中学校、県立中学校、高等学校〕

コード No.	内容	提出方法 等	分量	ファイル形式 等	様式
114a	学習指導における課題・工夫点	5月16日(木)までに P l a n t で提出 当日持参 7部	A 4 1ページ程度	PDF形式 ファイル名 は様式参照	教育総合研究所 ホームページ ↓ 「研修の申込・案内」 ↓ 「基本研修・職務研修」 よりダウンロード
114b	授業自己評価シート	6月13日(木)までに P l a n t で提出	A 4 1ページ程度		
113	授業実践研究のテーマ設定・ 実践研究プラン		A 4 1ページ程度		
161	授業実践研究〔中間まとめ〕	10月3日(木)までに P l a n t で提出 当日持参 7部	A 4 2ページ程度		
162	授業実践研究〔完成〕	研修後一週間以内に P l a n t で提出 当日持参 7部	A 4 3ページ程度		

〔特別支援学校〕

コード No.	内容	提出方法 等	分量	ファイル形式 等	様式
181	個別研究テーマ	当日持参 8部	A 4 1ページ程度	—	後日別途通知
114	教材レポート	当日持参 7部	A 4 2ページ程度	—	後日別途通知
184	個別研究の経過	当日持参 7部	A 4 1ページ程度	—	後日別途通知
185	個の成長を考える	当日持参 8部	A 4 1ページ程度	—	後日別途通知
186	個別研究の中間報告	当日持参 8部	A 4 2ページ程度	—	後日別途通知
161	授業実践研究〔中間まとめ〕	研修後一週間以内に P l a n t で提出 当日持参 7部	加筆・修正	—	No.186のレポート に加筆・修正
N101 N201	視聴修了証明書を各自印刷	No.161受講日持参 1部	—	—	—
189	個別研究のまとめと 今後の課題	オンラインで画面共有 ※提出は課さない	A 4 3ページ程度	—	No.161のレポート に実践内容を追記
162	授業実践研究〔最終報告〕	当日持参 7部	A 4 4ページ程度	—	No.189のレポート に実践内容を追記
	授業実践研究〔完成〕	2月28日(金)までに P l a n t で提出	加筆・修正	PDF形式	上記レポート に加筆・修正

7 通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボについて

1 通信型研修の受講方法

教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→【【初任者研修】〇〇〇】より受講する。

※H001～H621 教科に関する通信型研修は各自申込が必要となる。受講方法の詳細は「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」を参照すること

2 NITS動画教材の受講方法

「教育情報システム」→「P l a n t」より受講する。

※詳しくは「P l a n t」TOP画面に掲載予定の「マニュアル」を参照

3 NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～の受講方法および修了証明書（特別支援学校のみ）

・国立特別支援教育総合研究所ホームページからログインし受講する。（ユーザー登録の方法は特別支援教育センターから別途連絡する。）

・講座視聴後は視聴修了証明書を各自で印刷し、No.161 受講時に提出する。

4 通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボの振り返り

校外研修実施計画（p.7～11）に記載の◎印が付された通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボは、講座視聴後、「振り返り」を入力する。「校外研修の記録・報告書」に概要・感想・成果の活用等に転記する。※コピー&ペーストが可能

〔小学校、中学校、県立中学校、高等学校〕

コード No.	講座名	受講期限
N001	NITS動画教材 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 NITS動画教材 基礎的研修シリーズ No.4「スクール・コンプライアンス」	8月30日(金)
N002	NITS動画教材 基礎的研修シリーズ No.5「学校の組織、チーム学校」	
G211	学級づくりシリーズI ～学級づくりのストーリーを知る～	
G301	情報セキュリティの基礎	
N003	NITS動画教材 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	
G101	授業のユニバーサルデザイン ～どの子も楽しく「わかる・できる」授業を目指して～	1月10日(金)
N004	NITS動画教材 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	
N005	NITS動画教材 基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～」	
H001～ H621	教科に関する通信型研修	
H801	道徳教育の基礎（小中）	
N006	NITS動画教材 校内研修シリーズ No.81 「高等学校における道徳教育の充実に向けて」（高）	

〔特別支援学校〕

コード No.	講座名	受講期限
N001	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No.4「スクール・コンプライアンス」	8月30日(金)
N002	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No.5「学校の組織、チーム学校」	
G301	情報セキュリティの基礎	
N101	N I S E 学びラボ「多様な学びの場（特別支援学校の教育）」	10月31日(木)
N201	N I S E 学びラボ「障害種別の専門性」	
H001～ H621	教科に関する通信型研修	1月10日(金)
N003	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	
G101	授業のユニバーサルデザイン ～どの子も楽しく「わかる・できる」授業を目指して～	
H801	道徳教育の基礎	

主な研修会場案内

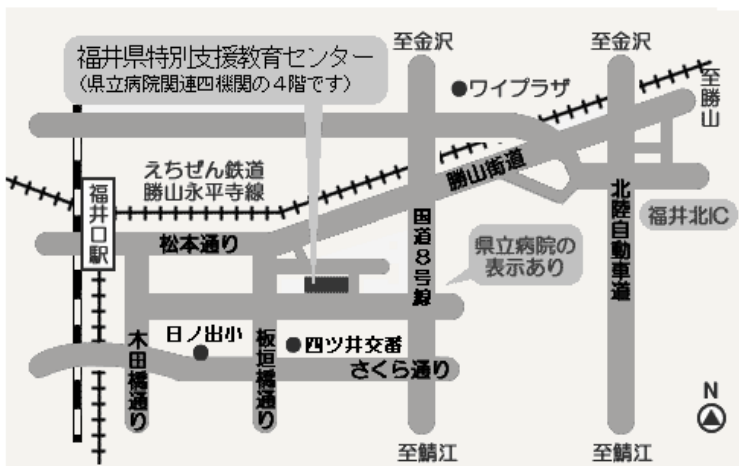
○福井県教育総合研究所



福井県教育総合研究所
〒919-0461 坂井市春江町江留上緑 8-1
TEL (0776) 58-2160

- バスを利用する場合
福井駅（西口バスターミナル）
エンゼルランド線「エンゼルランドふくい」行きに乗車 約30分
「教育博物館前」下車 徒歩5分
- 電車を利用する場合
JR北陸線「春江駅」下車
徒歩15分

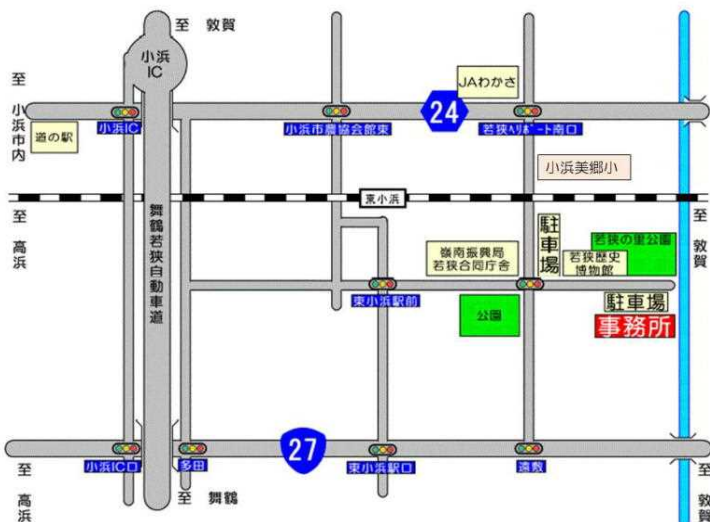
○福井県特別支援教育センター



福井県特別支援教育センター
〒910-0846 福井市四ツ井 2-8-1
TEL (0776) 53-6574

- バスを利用する場合
福井駅（西口バスターミナル）
「県立病院」行きに乗車
「県立病院」下車
- 電車を利用する場合
えちぜん鉄道「福井口駅」下車
徒歩5分

○福井県教育庁嶺南教育事務所



福井県教育庁嶺南教育事務所
〒917-0241 小浜市遠敷 2 丁目 205
TEL (0770) 56-1302

- バスを利用する場合
JRバス 若江線「遠敷」下車
- 電車を利用する場合
JR 小浜線「東小浜駅」下車
徒歩10分

福井県教員育成指標

福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために
挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、
いっどこにいても社会や地域に貢献する人

福井が求める教師像

校種・教科等に関する
専門的知識・実践的技能
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、
自立した社会人としての良識や
幅広い視野を持った人

子どもたちともより、同僚や家庭、
地域社会と円滑な人間関係を築き、
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に
燃え、常に学び続ける
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ			第2ステージ			第3ステージ			ステージ	管理職	
			教員としての基盤を固める			中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する			経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする					トップリーダーとして教育活動を推進する
素養	教育的愛情使命感責任感	子どもに対する愛情・教職への情熱	子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 ・教職に対する使命感、誇り、責任感	学校教育を牽引する使命感、責任感	組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感	将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力	素養	倫理観人間性社会性	高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、服務の誠実かつ公正な遂行 ・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画	豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築	素養	判断力	明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ◎正確で迅速な情報収集、整理、分析、共有(アセスメント) ・的確な判断を行う力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握
	倫理観人間性社会性	高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、服務の誠実かつ公正な遂行 ・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画	豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築	豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築	豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築								
	コミュニケーション力	他者との意思の疎通と協働 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築	同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通	同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通	同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通	同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通		同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通						
学習指導	教科等の専門性	教科等を学ぶ意義の理解 教科等で培う力の把握	教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究	教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究	教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究	教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究	学習指導	授業力	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案
	福井の教育力を支える研究・連携	福井の教育の特長の理解 「ふるさと福井」を大切に思う心	子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦横も教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承	子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦横も教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承	子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦横も教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承	子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦横も教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承		子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦横も教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承						
	ICTや情報・教育データの利活用	ICT活用の理解 ・ICT活用の技能	授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫	授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫	授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫	授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫		授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫						
生徒指導	特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の基本的な知識	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の理解、実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	生徒指導	幼児・児童・生徒理解	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識
	幼児・児童・生徒に応じた支援課題への対応や支援	子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度								
	業務改善(働き方改革に向けて)	効率的な時間管理に対する意識	自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進		自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進						
マネジメント・人材育成	学級経営	理想とする学級像の形成	一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	マネジメント・人材育成	社会の変化への対応	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解
	学校安全危機管理	学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解								
	人材育成	様々な課題に対応する力	学校内外の研修や自主研究への参画	学校内外の研修や自主研究への参画	学校内外の研修や自主研究への参画	学校内外の研修や自主研究への参画		学校内外の研修や自主研究への参画						
連携・協働	組織における協働	仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	連携・協働	家庭や地域社会との連携	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解
	福井の力	「ふるさと福井」の教育	福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE」など)	福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE」など)	福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE」など)	福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE」など)								

「◎」は特に校長に預ること